

「祭」

おはようございます。

先週の土・日は、地元にある白鬚神社のお祭り、今週末の土・日は、隅田川神社のお祭りです。皆さんの中には町内の御輿（みこし）を担いだり、神楽殿での舞を見たり、笛や太鼓の伝統音楽を聞いたり、何といたっても家族や友だちと参道の出店を楽しむという人も大勢いたのではないのでしょうか。先生方やPTA役員の方々も皆さんが安全にお祭りに参加できるようにパトロールをしてくれています。私も土曜日の例大祭式典に参加しましたが、区長さんをはじめ、議員さんや諸官庁の方、また町会長さんや地元の関連小学校・中学校・高校の校長先生など、たくさんの方々も参列していました。

日本中ばかりでなく世界中に様々なお祭りがありますが、今日はこの「祭」についてお話してみたいと思います。お祭りは本来、神様を「祭る」という事ですが、現代では人々を結びつける重要な役割を果たしていると思います。私の生まれ育った群馬県の田舎にも夏祭りがあり、何年かに一度は参加しています。小・中学生の頃の幼なじみや隣のおじさんたちと町内ごとの大きな山車（だし）に乗り、法被にねじり鉢巻きをして太鼓を叩いたことや御輿を担いだことなどの記憶が今でも鮮明に甦ってきます。元来、祭りはその地元の人々の生活の一部というか、生きていくための拠り所であったと思うのですが、ともすれば多くの人を地元呼び込む観光的な要素も強くなってきているように感じます。観光化が進むことは、たくさんの方が祭りを喜んでくれることなので、ある意味すばらしいことだと思います。皆さんの近くにある地元の祭りの盛り上がりもすごいですし、その熱気も楽しめますが、地元の伝統的なお祭りの縁起やいわれを知っていれば、もっと心で感じることや感動も深まると思います。さらに、御輿を担いだり、笛や太鼓の伝統音楽や踊りに参加することで世代を超えたコミュニケーションも生まれ、地域の人たちとの絆が強まっていくのではないのでしょうか。

最後に、先週実施した3年生の修学旅行は、班行動を中心として皆さん一人ひとりの思い出に残るものにすることができたと思います。今週水曜日・木曜日は、1年生の野外体験があります。中学生になって初めての宿泊行事です。集団生活の学習や普段できない農業体験などががんばってきてください。2年生は、7月はじめの3日間、職場体験があります。皆さんがそれぞれに選んだ職場で働くことの意義や社会性、コミュニケーション能力を高めてきてください。

だいぶ暑くなり衣替えの時期になりました。今週も一週間がんばりましょう。